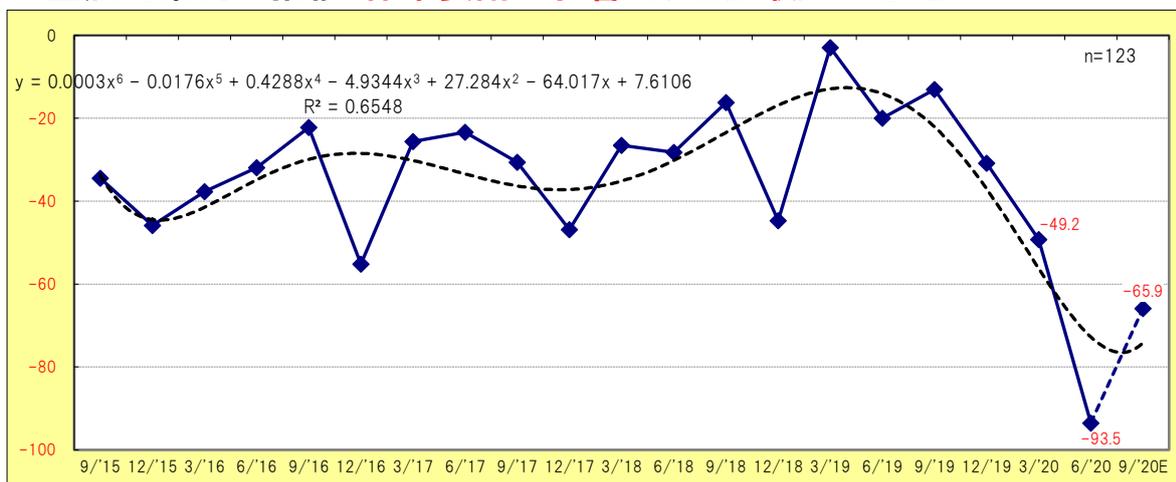


第 81 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

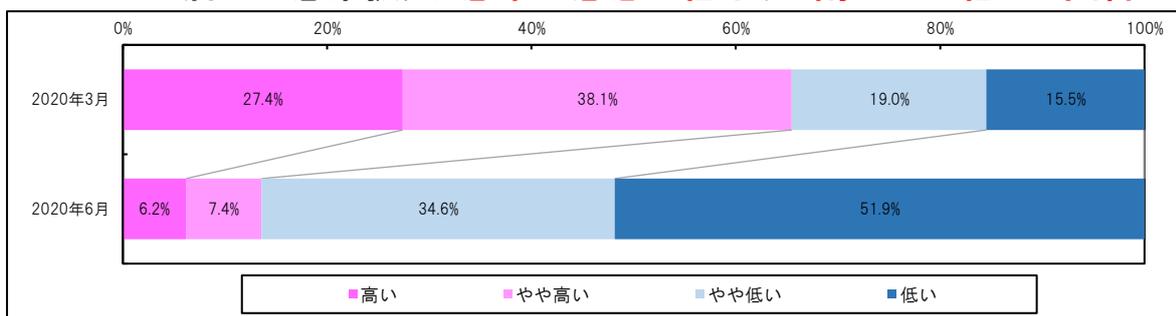
2020 年 7 月

要点

■全般的業況の推移:休業要請の影響で、過去最大の悪化



■パチンコ店での感染拡大:感染の懸念が低下、8割以上が低いと回答



■今後の営業施策:7割が遊技機購入費削減へ。2割は事業規模縮小も

n=81

	増やす	変わらず	減らす	増減差
パチンコ遊技機購入費	4.9%	21.0%	74.1%	-69.2%
パチスロ遊技機購入費	7.4%	22.2%	70.4%	-63.0%
パチンコの総設置台数	1.2%	76.5%	22.2%	-21.0%
パチスロの総設置台数	6.2%	79.0%	14.8%	-8.6%
販促(DM・チラシ)費	6.2%	42.0%	51.9%	-45.7%
スタッフ採用・人材育成費	9.9%	46.9%	43.2%	-33.3%
設備機器購入費	6.2%	34.6%	59.3%	-53.1%
その他経費	2.5%	15.0%	82.5%	-80.0%
事業規模	拡大する 8.6%	変わらず 70.4%	縮小する 21.0%	増減差 -12.4%
賞品(景品)原価率	(等価のほうに) 引き上げ 1.2%	変わらず 87.7%	引き下げ 11.1%	増減差 -9.9%

◇回答状況

81 企業、123 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■休業要請の影響により、業況は過去最大の悪化。一方、「雇用」は大幅に改善

6 月期は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休業要請の影響を大きく受けた。「全般的業況」は▲93.5 ポイント(前回比 44.3 悪化)と過去最大の悪化、3 カ月後は▲65.9 ポイントと、依然として見通しは厳しい。

「稼働状況」はパチンコ▲94.3 ポイント(前回比 34.9 悪化)、パチスロ▲77.7 ポイント(前回比 37.4 悪化)と大幅に落ち込んだ。3 カ月後は、パチンコ▲68.3 ポイント、パチスロ▲59.0 ポイントと厳しい状況が続く見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は▲76.5 ポイント(前回比 83.7 悪化)まで大幅に悪化、3 カ月後は▲64.9 ポイントとなるも、投資気運は引き続き低い。「資本投資気運(その他設備)」は▲44.4 ポイント(前回比 49.2 悪化)と大幅に悪化、3 カ月後は▲53.1 ポイントとさらに悪化する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲34.1 ポイントから 2.4 ポイントまで大幅に回復、3 カ月後は▲2.4 ポイントとやや悪化する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI 値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 →  →  -49.2	 →  -93.5	 →  -65.9	現状は引き続き雷雨 見通しは引き続き雷雨
2. 稼働状況 (パチンコ)	 →  →  -59.4	 →  -94.3	 →  -68.3	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 →  →  -40.3	 →  -77.7	 →  -59.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	 →  →  7.2	 →  -76.5	 →  -64.2	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
5. 資本投資気運 (その他設備)	 →  →  4.8	 →  -44.4	 →  -53.1	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
6. 不足感 (営業用設備)	 →  →  -13.2	 →  -26.0	 →  -24.4	現状も引き続き雨 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 →  →  -34.1	 →  2.4	 →  -2.4	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り

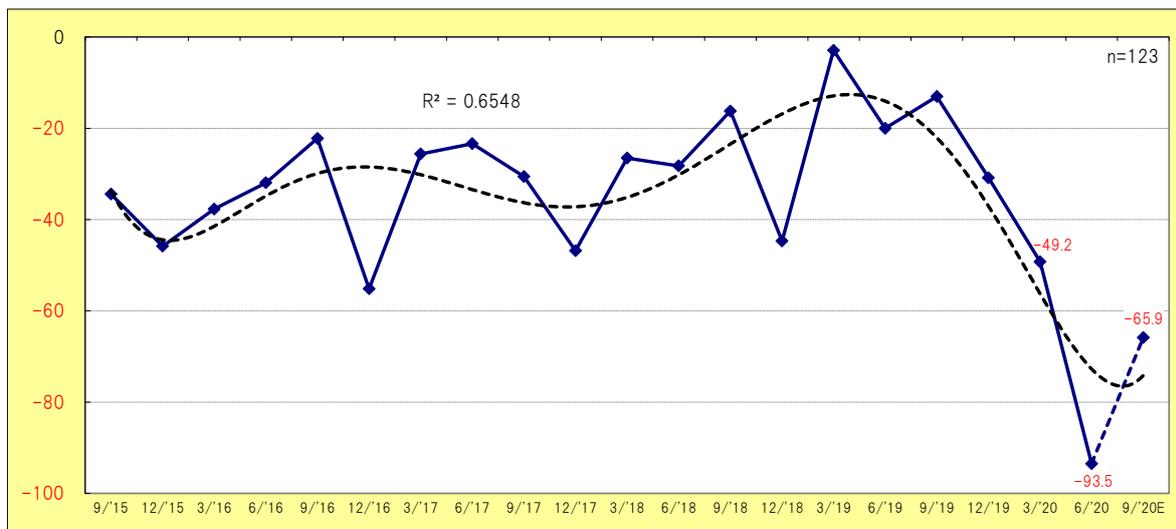
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2020年9月期(9/'20E)の数値は見通し

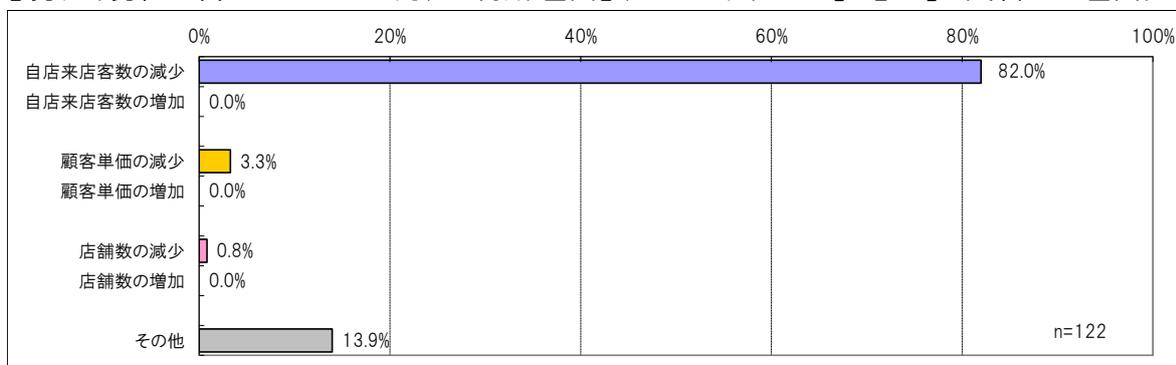
■全般的業況:6月は過去最低、3カ月後の見通しは回復するものの厳しい



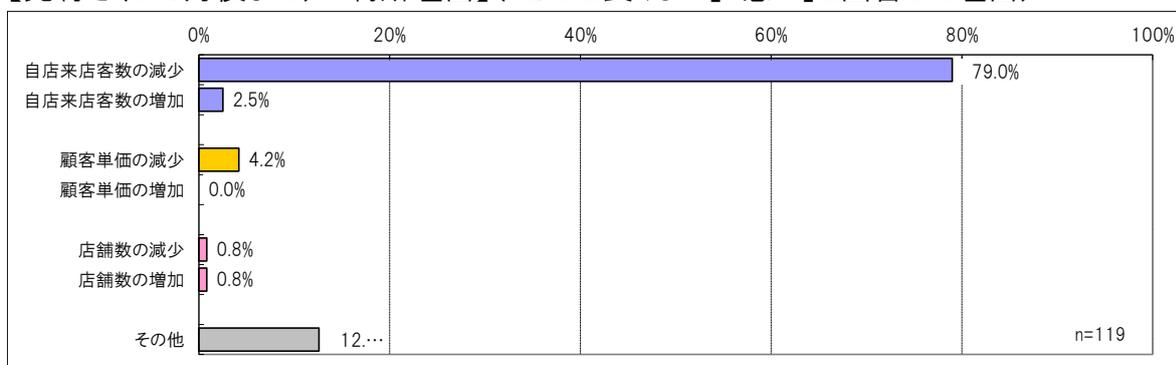
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲93.5ポイント(前回比44.3悪化)となり、過去最大の落ち込みとなった。3月期も新型コロナウイルスの影響により業績の落ち込んだ事業者は多かったが、6月は休業要請により過去にない打撃を受けた。3カ月後の見通しは▲65.9ポイントと依然として厳しい。

■全般的業況の悪化理由:「来店客数の減少」が約8割

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



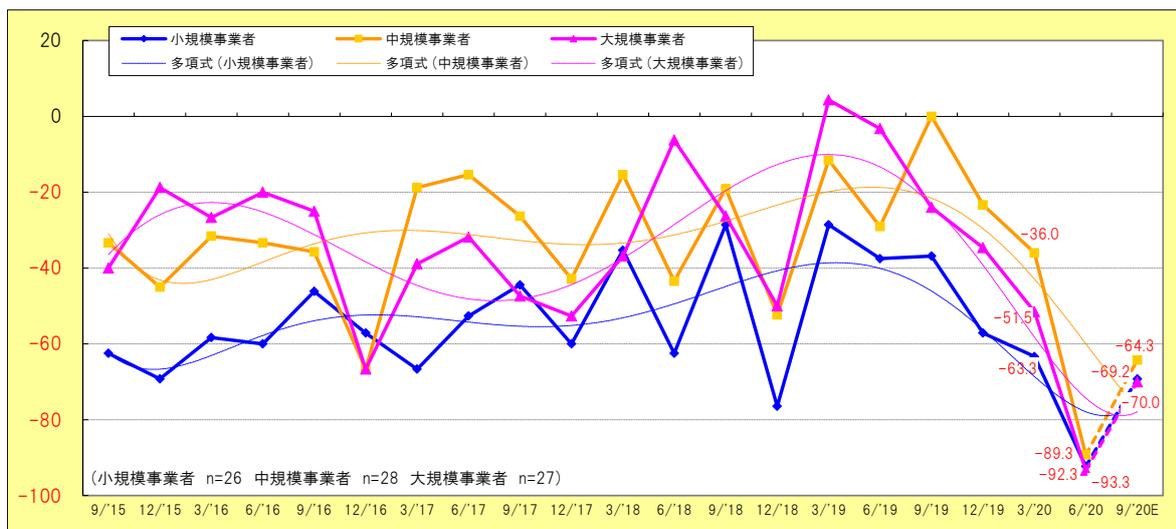
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2020年9月期(9/'20E)の数値は見通し

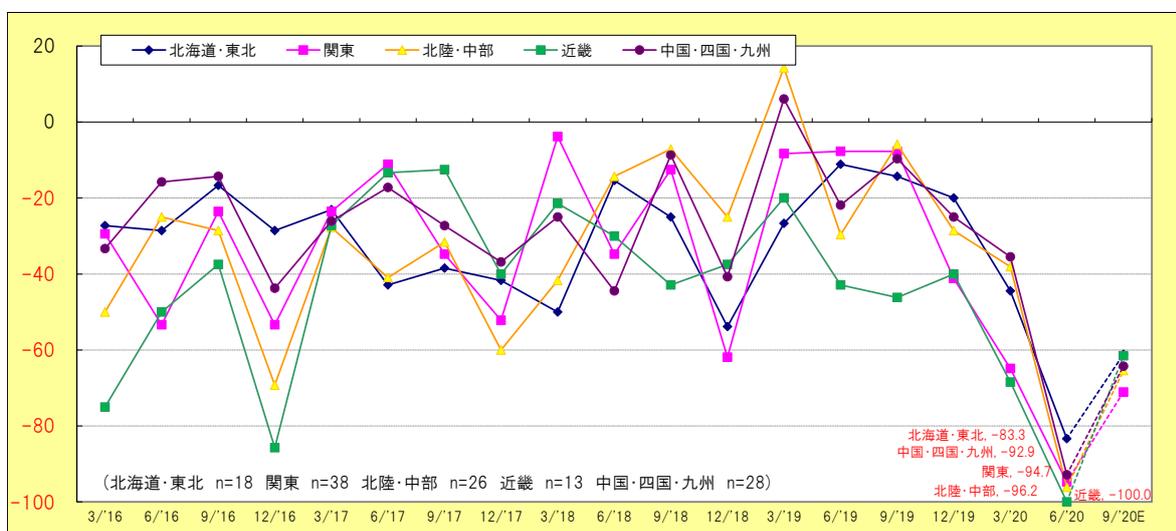
■全般的業況(規模別):全事業者で大幅な悪化、3カ月後も厳しい見通し



事業規模別の「全般的業況」では、全事業者で悪化した。小規模事業者(1~3 店舗)が▲92.3 ポイント(前回比 29.0 悪化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲89.3 ポイント(前回比 53.3 悪化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲93.3 ポイント(前回比 41.8 悪化)となった。

3 カ月後はすべての事業者で回復が見られるものの、見通しの厳しさに大差はない。

■全般的業況(地域別):全地域で大幅に悪化、北海道・東北は回復幅が低い

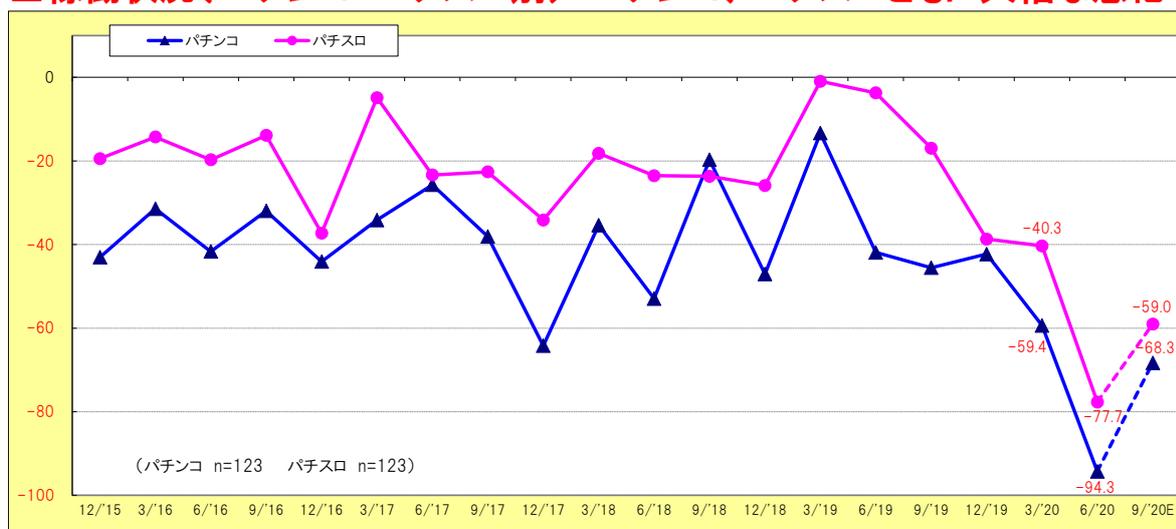


地域別での業況に大差なく、全地域で業況の不調さが際立った。北海道・東北で▲83.3 ポイント(前回比 38.9 悪化)、中国・四国・九州で▲92.9 ポイント(前回比 57.4 悪化)、関東で▲94.7 ポイント(前回比 29.8 悪化)、北陸・中部で▲96.3 ポイント(前回比 58.1 悪化)、近畿で▲100.0 ポイント(前回比 31.6 悪化)となった。

3 カ月後は全地域で回復するものの、見通しは引き続き悪い。

稼働状況(事業者全体) 注:2020年9月期(9/’20E)の数値は見通し

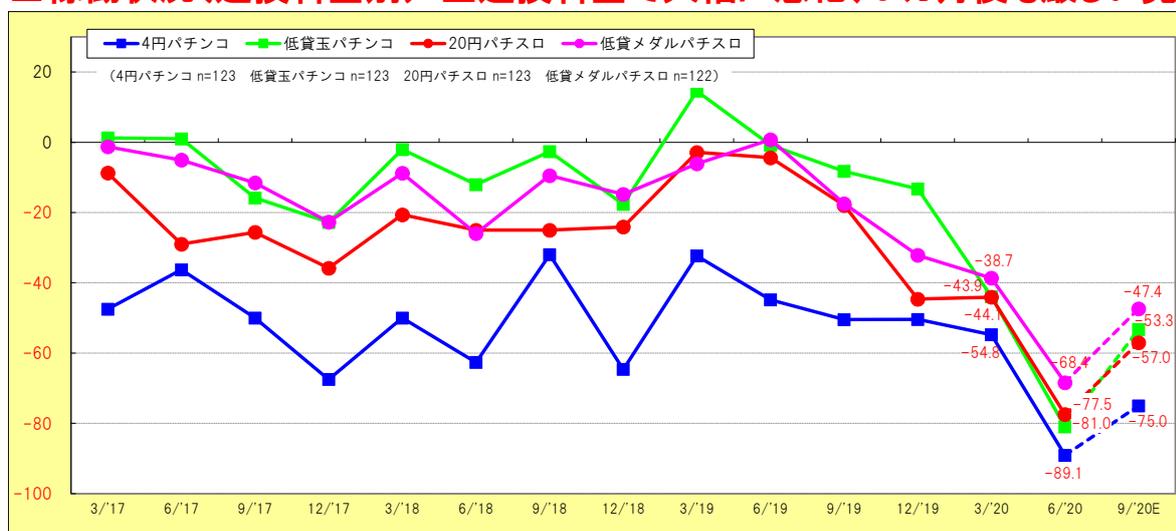
■稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ、パチスロともに大幅な悪化



稼働状況はパチンコ▲94.3ポイント(前回比34.9悪化)、パチスロ▲77.7ポイント(前回比37.4悪化)まで大幅に落ち込んだ。

3カ月後はパチンコ▲68.3ポイント、パチスロ▲59.0ポイントとなる見通しである。パチンコ、パチスロともに回復の見通しだが、3月期までの回復は見込んでいない。

■稼働状況(遊技料金別):全遊技料金で大幅に悪化、3カ月後も厳しい見通し



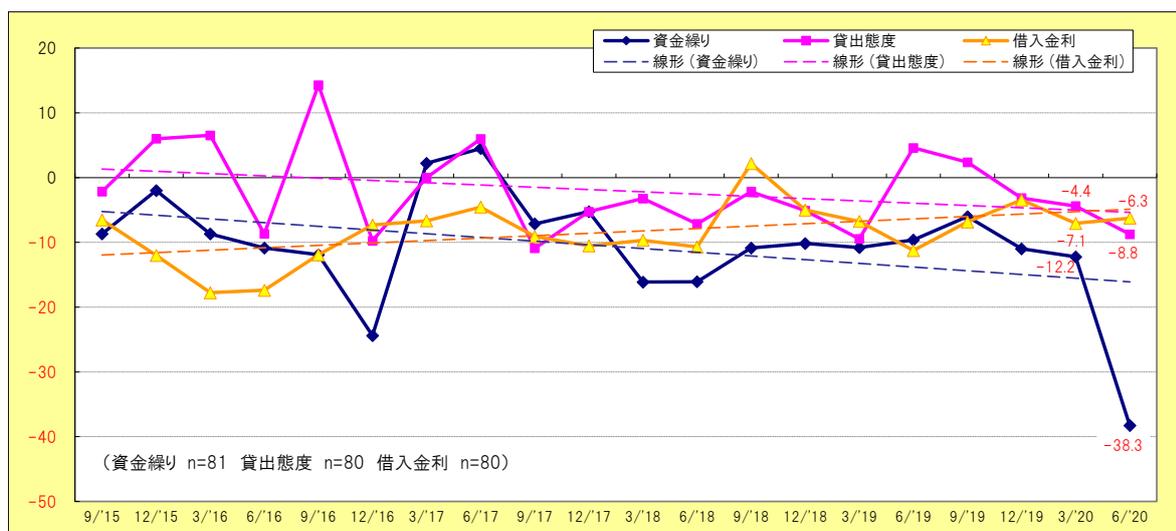
遊技料金別の稼働状況は、全遊技料金で大幅に落ち込みが見られた。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲89.1ポイント(前回比34.3悪化)、3カ月後は▲75.0ポイントまで回復の見通しである。20円パチスロは▲77.5ポイント(前回比33.4悪化)、3カ月後は▲57.0ポイントまで回復の見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲81.0ポイント(前回比37.1悪化)、低貸メダルパチスロは▲68.4ポイント(前回比29.7悪化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは▲53.3ポイント、低貸メダルパチスロは▲47.4ポイントまで回復の見通しである。

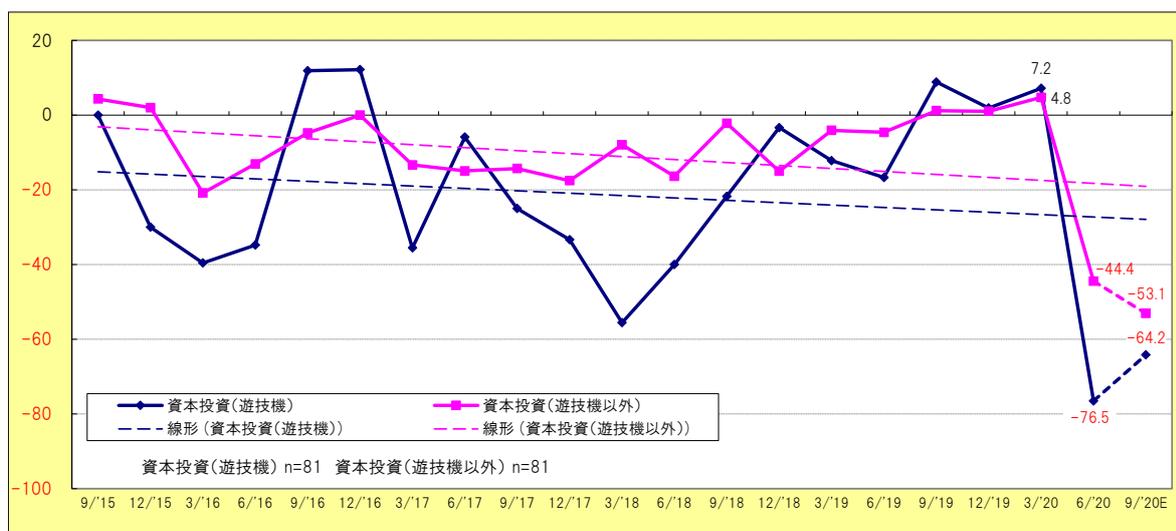
経営の現状(事業者全体) 注: 2020年9月期(9/-'20E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りは大幅に悪化、借入金利と貸出態度は現状維持



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲38.3ポイント(前回比 26.1 悪化)、「貸出態度」▲8.8ポイント(前回比 4.4 悪化)、「借入金利」▲6.3ポイント(前回比 0.8 良化)となった。

■資本投資気運:プラス圏から大幅に悪化、遊技機以外は3カ月後も悪化

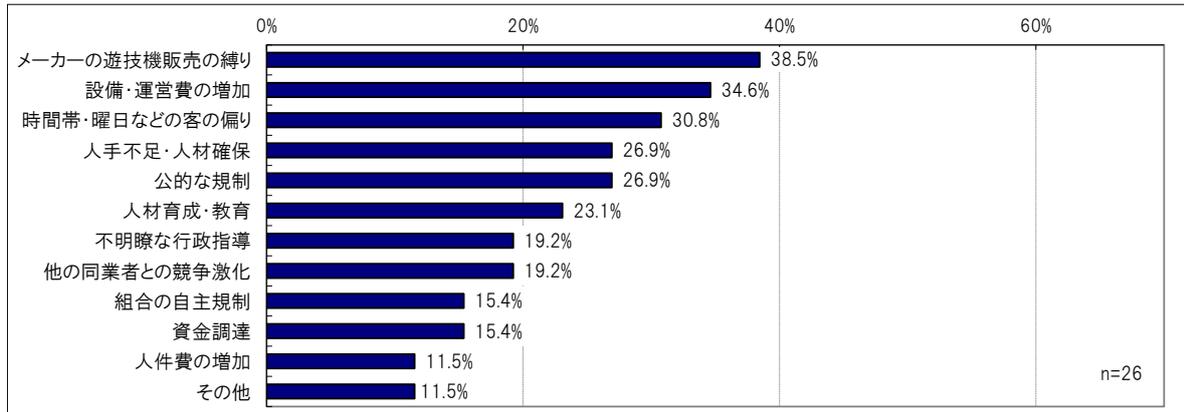


今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲76.5ポイント(前回比 83.7 悪化)とプラス圏から大幅に悪化した。3カ月後は▲64.2ポイントまで回復するも、見通しは引き続き低い。

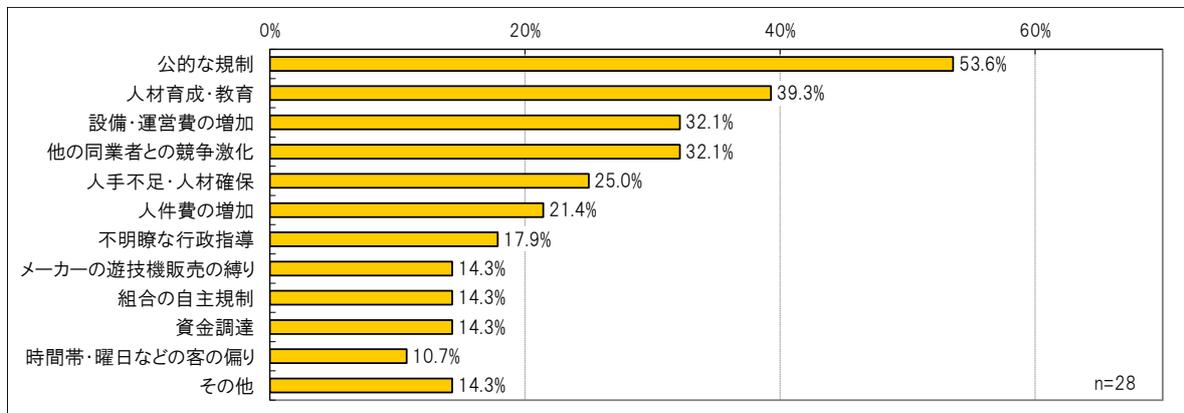
一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲44.4ポイント(前回比 49.2 悪化)となった。3カ月後は▲53.1ポイントまでさらに悪化する見通しである。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

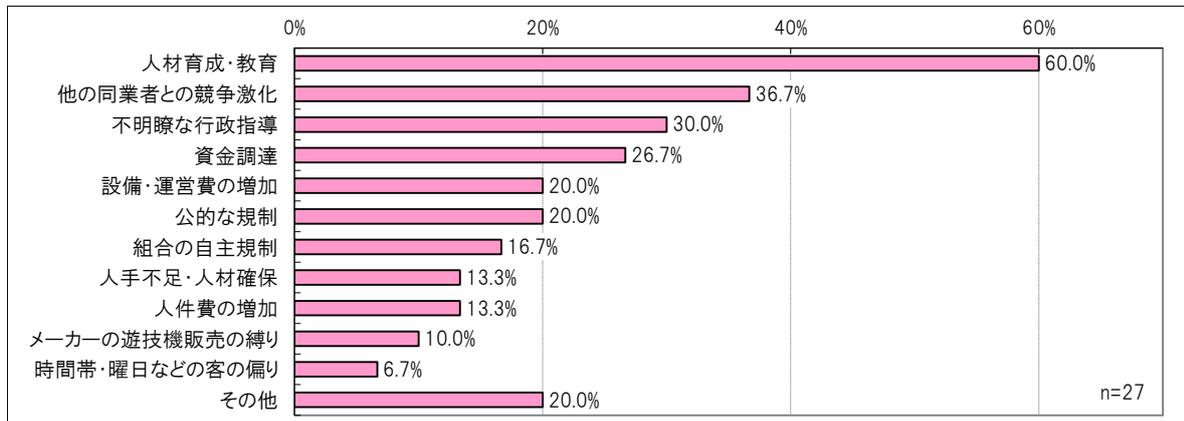
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く4割弱、2番目が設備・運営費増加



■中規模事業者:公的な規制が最も高く5割以上、2番目に人材育成・教育



■大規模事業者:人手不足・人材確保が6割、2番目に同業者との競争激化



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が 38.5%で最も高い。以下、「設備・運営費の増加」(34.6%)と「時間帯・曜日など客の偏り」(30.8%)となった。

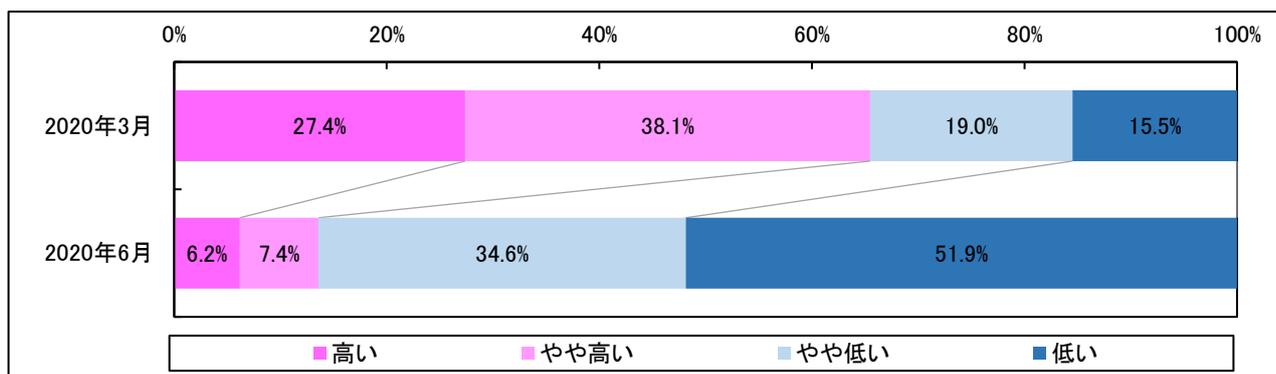
中規模事業者(4~10 店舗)は「公的な規制」が 53.6%と最も高い。続いて「人材育成・教育」(39.3%)が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)においても「人材育成・教育」が 60.0%と最も高い。続いて、「他の同業者との競争激化」(36.7%)、「不明瞭な行政指導」(30.0%)が高かった。

トレンド・ウォッチ「新型コロナウイルスの影響と対策」

■パチンコ店での感染拡大：感染の懸念が低下、8割以上が低いと回答

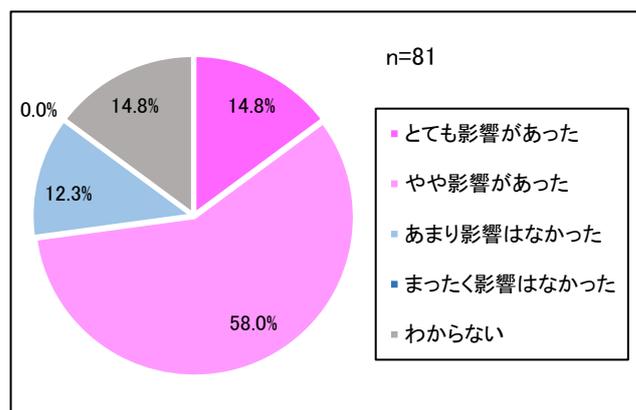
下図はパチンコ店での新型コロナウイルス感染拡大の可能性について、3月と6月で比較したものである。緊急事態宣言前の3月の時点では、6割以上の事業者で感染拡大の「可能性が高い」（「やや高い」と「高い」の合計）と回答していたが、宣言解除後の6月には2割以下まで低下した。8割以上の事業者が感染拡大の「可能性が低い」（「やや低い」と「低い」の合計）と回答したが、現時点ではパチンコ店のクラスター（集団感染）事例がないことから、感染拡大に対する懸念が低下したと考えられる。



■感染拡大時での原則屋内禁煙の影響：7割以上が「影響があった」と回答

右図は2020年4月からの屋内原則禁煙について質問した結果である。「とても影響があった」（14.8%）と「やや影響があった」（58.0%）を合わせると7割以上が、「影響があった」と回答している。

コロナウイルスの影響で稼働が落ち込む中でも「わからない」は1割強程度で、影響を感じている事業者が大半となった。

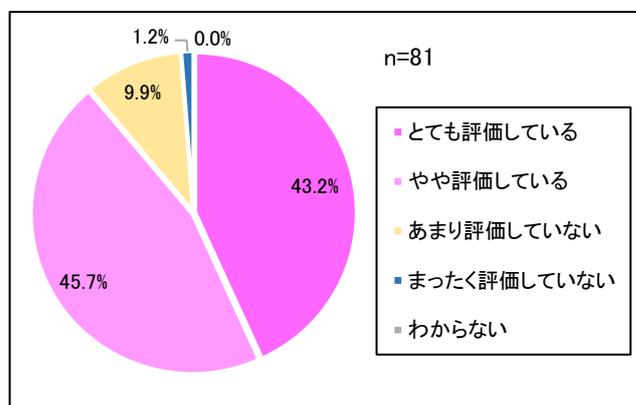


■旧規則機の設置期限延長：約9割の事業者が「評価している」

右図は、主要6団体が旧規則機の設置期限延長を申請し、それを受けて国家公安委員会が一部の規則を改正、経過措置期間が延長されたことに対する評価である。

設置期限の延長を「とても評価している」は43.2%、「やや評価している」は45.7%となり、全体の約9割の事業者が「評価している」と回答した。

その一方で、旧規則機の自主的な撤去計画の完全な履行を求める声も聞かれた。

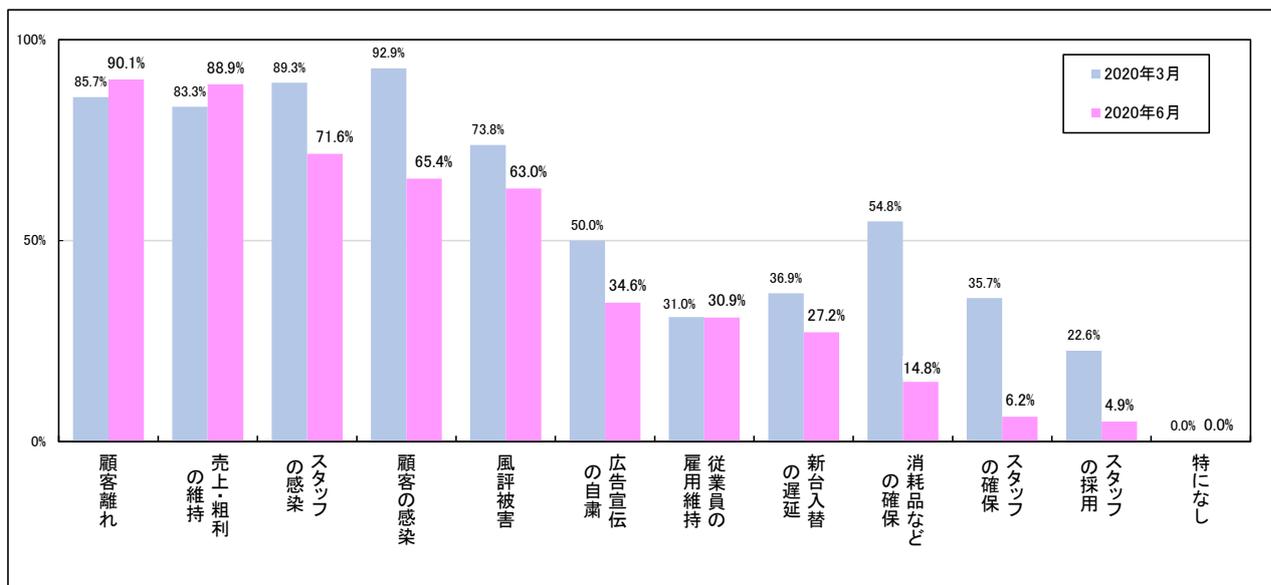


■今後の不安:「顧客離れ」と「売上・粗利の維持」が約 9 割

下図は新型コロナウイルスの影響について、今後の不安を 3 月と 6 月で比較した結果である。

6 月に最も高かったのは「顧客離れ」(前回比 4.4 ポイント増)で 90.1%、2 番目は「売上・粗利の維持」(前回比 5.6 ポイント増)で 88.9%となった。以下、「スタッフの感染」「顧客の感染」「風評被害」の順で高かったが、いずれも 3 月より低下している。最も低下した割合が高いのは「消耗品などの確保」であった。

3 月の時点では「顧客の感染」や「スタッフの感染」が上位だったが、感染対策が取られていることもあり、不安が低下している。



■今後の営業施策:7 割が遊技機購入費削減へ。2 割は事業規模縮小も

下表は、緊急事態宣言後の営業の取り組みについて質問した結果である。

全体的には経費削減の動きが顕著に見られる結果となった。経費の中でも大きな割合を占める「遊技機購入費」は、パチンコ・パチスロともに 7 割以上の事業者が減らすと回答している。

「パチンコの総設置台数」の減少や「事業規模」の縮小に取り組むと 2 割程度の事業者が回答しており、市場の縮小が今後進むことが予想される。

n=81

	増やす	変わらず	減らす	増減差
パチンコ遊技機購入費	4.9%	21.0%	74.1%	-69.2%
パチスロ遊技機購入費	7.4%	22.2%	70.4%	-63.0%
パチンコの総設置台数	1.2%	76.5%	22.2%	-21.0%
パチスロの総設置台数	6.2%	79.0%	14.8%	-8.6%
販促(DM・チラシ)費	6.2%	42.0%	51.9%	-45.7%
スタッフ採用・人材育成費	9.9%	46.9%	43.2%	-33.3%
設備機器購入費	6.2%	34.6%	59.3%	-53.1%
その他経費	2.5%	15.0%	82.5%	-80.0%
事業規模	拡大する 8.6%	変わらず 70.4%	縮小する 21.0%	増減差 -12.4%
賞品(景品)原価率	(等価のほうに) 引き上げ 1.2%	変わらず 87.7%	引き下げ 11.1%	増減差 -9.9%

コメント(自由回答)抜粋

■「新型コロナウイルスの影響と対策」および、現状・先行きに対するご意見

「新型コロナウイルスの影響と対策」に関するコメント

■新型コロナウイルスの影響と対策

- ◆ 行政の指導通りに営業を自粛(途中で崩壊したが)していた店舗がバカをみた。(関東・小規模事業者)
- ◆ **政府及び地域首長の判断のバラつきが目立った。**(関東・大規模事業者)
- ◆ 営業自粛要請の断固拒否を全日遊連の理事長や各都道府県の理事長ができなかったことが最大の敗因。冤罪により客足はいまだ戻らず、全国のパチンコ店は厳しい状況だ。パチンコ店はまったくの無罪なのに、非常に腹立たしい。歯を食いしばって事業継続をやっていききたい。(中国・小規模事業者)
- ◆ 休業要請中に一部の店舗が営業していたため、**世間から過剰なバッシングを受けたことは非常に残念**であった。また、報道にも悪意を感じた一方で、パチンコ業界の現実も目の当たりにした。**業界のイメージ改善は並大抵なことではないが、前向きに払拭する必要がある**と感じた。(東北・大規模事業者)
- ◆ 根拠なき休業要請に困惑した。業界でクラスター事例がないのにイメージだけでの休業要請は行き過ぎだ。メディアも要請に応じなかった店をこぞって取り上げたバッシングに呆れた。休業要請が明けても客足が戻らない環境を打開し、今いるお客様を守りつつ営業していききたい。(関東・中規模事業者)
- ◆ 休業要請を守らないパチンコ店が多々あった中、自社は全拠点で県独自の休業要請も応えてきたが、早くから休み、遅く営業を再開したパチンコ店が軒並み苦戦している。休業要請を守らなかったパチンコ店には何の罰則もない。**旧規則機の設置期限猶予は評価したいが、自主規制は守られない可能性が高い。**休業要請を守った者負けの現状から各企業の姿勢に任せる自主規制は受け入れ難い。正直者が馬鹿を見るこの業界にいい加減に嫌気がさす。(東北・大規模事業者)
- ◆ 受動喫煙とコロナによる休業が重なり検証しにくい、**今回の休業で(常習性のある)常連のお客様がすべて元に戻ることはない**と思う。(関東・小規模事業者)
- ◆ 弊社は関東に店舗があるので自粛要請が最後まで解除されなかった。7月連休前までには今年2月期の数値まで回復すると予想していたが、現状は**回復までにもう少し時間を要する**と思う。**旧規則機設置期限の延長で遊技機購入費が削減できるため、休業時の利益損失を補填する。**6月、7月は主要な遊技機が販売されない、**状況を見ながら予算目標の立て直し**を行う。(関東・大規模事業者)
- ◆ クラスターが出てもないのに悪いイメージがついた。**再開後もパチンコ店に行くのが悪のようになって**いる。(近畿・小規模事業者)
- ◆ コロナの影響の長期化は避けられず、V字回復もありえない。今やれる事を粛々とやるだけだ。(関東・小規模事業者)
- ◆ 全面禁煙とパチンコバッシングの影響で稼働の低下が大きい。コロナの影響で**お年寄りの来店頻度が低下**している。(関東・小規模事業者)
- ◆ 今年後半から来年にかけて再び営業自粛した場合、どうなるのか。今回の自粛が過剰だったと世論が結論付けた場合、次回は「リスクが高い層」=「高齢者のみ」自粛となる可能性がある。その時はパチンコの稼働への影響が高いと思われるので、**パチスロへの転換も考えておく必要がある。**(中国・大規模事業者)
- ◆ 4~5月の休業要請により長期間休業した。コロナ禍の中での営業は未体験のことが多く発生し、非常にストレスを感じる。早くワクチンや治療薬ができればと思いつつ、日々発生を適度に恐れながら感染防止マニュアルを実行していくのみ。1日も早い終息を望む。(中部・小規模事業者)
- ◆ コロナの影響は大きい、**必要なのは過剰な予防対策ではなく、冷静な通常対応である**と思う。**テレビ等でのパチンコバッシングにも、業界として反論すべきところはある**と思う。(中部・小規模事業者)
- ◆ とにかくパチンコ店からクラスターを出さないことを念頭に粛々と営業する。(関東・小規模事業者)
- ◆ コロナが終息したわけではないので、**新たな営業体制や意識を社内の文化として早く浸透させていき**たい。(関東・中規模事業者)
- ◆ コロナ第2波は必ずくる意識で営業計画を組み、油断せずに状況判断していく。(東北・中規模事業者)
- ◆ **コロナ対策を徹底しながらも積極的な集客増を図る。**(関東・大規模事業者)
- ◆ 貴重な体験ができた。(中部・大規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋

現状・先行きに関するコメント

- ◆のめり込み問題、使えない6号機、禁煙に加え、コロナで先が真っ暗だ。(関東・小規模事業者)
- ◆消費税増税、店内禁煙、コロナウイルスで相当数の遊技客が減少した。今後はさらに店舗数が減っていくと予想される。(関東・小規模事業者)
- ◆現在は通常営業に戻り、今まで来店していたお客様もほぼ戻ってきたが、**来店回数の減少が見られるため、稼働を今後維持できるか不安が残る。**(中国・中規模事業者)
- ◆客数(売上)が従来水準に復帰するまでの道筋が見えない。当面の数カ月間は、**遊技機購入費を抑制しながら、いかに粗利率の上昇を抑えるか**が最大のカギとなる。また、感染防止対策は人手を割きながらガイドラインに沿って実施することが原則となるが、そのオペレーションは粗利率と同様に**企業体力の差として顕在化されるのではないか。**(東北・大規模事業者)
- ◆コロナウイルスの影響で客数が減少し、売上も落ちている分、**固定費や販管費を減らしていかないと経営の存続は難しい。**その中で旧規則機の設置延長措置は評価しているが、詳細の部分で現場のパチンコ店を見ずに日工組・日電協の上層部(一部)で決めたリストを見ると不合理しか感じない。(中国・大規模事業者)
- ◆**資金調達に忙殺され、本来の仕事を確認ができない日々**である。支払いの打合わせは今まで以上だ。現場を育てる余裕がほしい。(近畿・大規模事業者)
- ◆他業種と同様にかなりの影響が出ている。特に**給与や賞与の減少、派遣社員などの雇止めなど心理的な影響が来店減少につながっているように**思える。(近畿・小規模事業者)
- ◆旧規則機の設置期限が最大1年延長となる。業界14団体で撤去計画を決めたが、遵守しない法人が出るのが懸念される。特別措置法の休業要請に従わず店名公表された法人に罰則がなかった。正直者が馬鹿を見る業界であってはならない。(北陸・中規模事業者)
- ◆お客様が安心して遊技できる環境づくりがより一層必要だ。また遊タイム機がお客様に受け入れられるのか？高射幸性の撤去に伴う6.1号機などが安定して使用できるのか？といった疑問がある。**遊技機を購入しても、売上・収益を維持することが困難な状況が年末以降も続いていく**と思われる。(中部・中規模事業者)
- ◆旧規則機の設置期限延長は本当に助かるが、その間に使える6号機が出ないことには延命措置にしかない。行政の考える遊技のあり方(低射幸性・技術介入の向上)を再現したであろう6号機が、現実には遊び手の気持ちをまるで無視した机上の空論でしかなく、ファンには支持されず、使う側にとっても商売が成立していないことをどのように受け止めているのかを知りたい。(中国・中規模事業者)
- ◆行政による指導も厳しいが、まじめに順守した事業者が損をするような緩和の仕方や不明瞭な管理は良くない。(関東・小規模事業者)
- ◆新型コロナのワクチンが来年夏になると予想しているが、稼働は良くても前年の8~9割程度しか戻らないだろう。**今後の予想収益に対する支出構造を根本的に見直すことが早急に必要だ。**(中部・大規模事業者)
- ◆業界の在り方も変わるべきチャンスと捉えたい。(関東・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-63.3	-92.3	-69.2	-36.0	-89.3	-64.3	-51.5	-93.3	-70.0	-49.2	-93.5	-65.9
稼働状況(パチンコ)	-69.0	-96.2	-69.2	-30.8	-89.3	-67.9	-61.3	-93.3	-73.3	-59.4	-94.3	-68.3
稼働状況(パチスロ)	-41.9	-76.0	-60.0	-37.5	-75.0	-57.1	-37.5	-76.7	-63.3	-40.3	-77.7	-59.0
資本投資気運(遊技機)	0.0	-68.0	-56.0	12.1	-89.3	-75.0	9.8	-76.7	-66.7	7.2	-76.5	-64.2
資本投資気運(その他設備)	-6.1	-52.0	-60.0	21.2	-46.4	-50.0	0.0	-43.3	-56.7	4.8	-44.4	-53.1
不足感(営業用設備)	-6.5	-26.9	-30.8	-16.7	-32.1	-35.7	-12.5	-33.3	-30.0	-13.2	-26.0	-24.4
不足感(雇用人員)	-15.2	-3.8	-7.7	-62.5	0.0	-7.1	-53.1	0.0	-3.3	-34.1	2.4	-2.4

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-44.4	-100.0	-77.8	-64.9	-93.8	-62.5	-38.1	-92.9	-64.3
稼働状況(パチンコ)	-52.9	-100.0	-88.9	-73.0	-93.3	-68.8	-38.1	-92.9	-71.4
稼働状況(パチスロ)	-35.3	-100.0	-77.8	-40.5	-53.3	-50.0	-42.9	-92.9	-64.3
不足感(営業用設備)	-11.1	-33.3	-33.3	-10.8	-31.3	-18.8	-9.5	-14.3	-7.1
不足感(雇用人員)	0.0	11.1	0.0	-48.6	-12.5	-6.3	-42.9	0.0	0.0
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-68.4	-100.0	-55.6	-35.5	-94.7	-63.2	-49.2	-93.5	-65.9
稼働状況(パチンコ)	-78.9	-100.0	-44.4	-54.8	-94.7	-63.2	-59.4	-94.3	-68.3
稼働状況(パチスロ)	-52.6	-66.7	-44.4	-38.7	-84.2	-57.9	-40.3	-77.7	-59.0
不足感(営業用設備)	-21.1	-22.2	-22.2	-16.1	-21.1	-21.1	-13.2	-26.0	-24.4
不足感(雇用人員)	-57.9	22.2	11.1	-29.0	15.8	10.5	-34.1	2.4	-2.4

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-30.0	-22.6	-52.0	-9.7	-20.0	-42.9	6.7	2.9	-26.7	-11.0	-12.2	-38.3
貸出態度	-18.8	-9.4	0.0	5.9	-11.5	-10.7	3.4	6.1	-16.7	-3.2	-4.4	-8.8
借入金利	-6.7	-3.3	-8.3	0.0	-8.3	-17.9	-3.8	-9.7	0.0	-3.4	-7.1	-6.3

* 全般的業況 n=123、稼働状況(パチンコ)n=123、稼働状況(パチスロ)n=123、資本投資気運(遊技機)n=81、資本投資気運(その他設備)n=81、不足感(営業用設備)n=123、不足感(雇用人員)n=123、資金繰り n=81、貸出態度 n=80、借入金利 n=80

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査。(株)エンタテインメントビジネス総合研究所と(株)シーズによる共同調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の4団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2020年6月11日～2020年6月26日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/

<http://www.sees.co.jp/>

◇回答状況：

81企業、123地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp



〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 Web:www.sees.co.jp/

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2020 Entertainment Business Institute, SEES Inc. All rights reserved.